

# 学生の確保の見通し等を記載した書類

神戸大学大学院

経済学研究科経済数理データ科学専攻

## 目 次

1	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	3
(1)	入学定員設定の考え方	3
(2)	学生確保の見通し	3
(ア)	定員充足の見込み	3
(イ)	定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	3
	＜本学経済学部3年次生へのアンケート調査＞	3
	＜国内他大学の学部3年次生へのアンケート調査＞	4
(ウ)	学生納付金の設定の考え方	5
(エ)	既設組織の定員充足状況	5
2	学生確保に向けた具体的な取組状況	5
3	人材需要の動向等社会の要請	6
(1)	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	6
(2)	上記（1）が社会的、地域的人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	6
(ア)	社会的、地域的な人材需要の動向と必要性	6
(イ)	人材需要の根拠となる客観的なデータの概要	7

## 1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

### (1) 入学定員設定の考え方

現代社会はビッグデータとAIを前提に動いている。インターネットやセンサーから生まれる多様なデータが、政策や事業の意思決定を支え、新しいサービスの創出と暮らしの利便性を押し上げている。一方で、気候変動、人口動態の変化、地政学リスクやサプライチェーンの分断などにより、社会・経済の不確実性は高まり、複雑かつ相互依存的な課題が顕在化している。

これらに対応するため、経済理論に基づく論理的思考と、機械学習・因果推論などのデータサイエンス技術を統合し、「理論×データ」で社会・ビジネスの課題解決を担う高度専門人材の養成を目的とした、経済数理データ科学専攻修士課程を設置する。

入学定員及び収容定員を以下のとおり設定する。

専攻	課程	入学定員	収容定員
経済数理データ科学専攻	修士課程	15	30

経済数理データ科学専攻の入学定員は、既存の経済学専攻博士課程前期課程の入学定員（83人）を改訂（入学定員の減）し、15人を移行する。

### (2) 学生確保の見通し

#### (ア) 定員充足の見込み

経済数理データ科学専攻修士課程の入学定員は15人、収容定員は30人である。入学定員のうち、内部進学者10人程度、外部受験者（他大学及び海外協定等等）5人程度を想定している。

既存の経済学専攻博士課程前期課程（入学定員83人）の直近5年間（令和3年度から令和7年度）における平均志願倍率は2.34倍で、特に令和7年度においては3.48倍と、社会科学系の大学院への関心が高まってきていると言える。

また、以下に記述するアンケート調査の結果から、入学定員15人の充足については、十分見込まれることが確認できる。

#### (イ) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

##### <本学経済学部3年次生へのアンケート調査>

令和7年10月1日から10月15日にかけて、本学経済学部の3年次生を対象に、経済数理データ科学専攻修士課程の概要、養成する人材像等について説明を行い、オンラインによるアンケート調査を実施し、146名から回答を得た。【資料1】

回答結果によると、「卒業後の進路について、現時点でどのように考えていますか」との問いに対し、「大学院に進学」を検討していると回答した学生が34名（23.3%）

であった。

「大学院に進学」を検討していると回答した34名のうち、経済数理データ科学専攻について、「とても魅力を感じる」、「ある程度魅力を感じる」と回答した学生は、それぞれ17名(50.0%)、15名(44.1%)と本専攻への関心度が高いことが分かる。

「どのような点について魅力を感じたか」に対しては、以下の点が多数を占めた。

- ・将来のキャリアに役に立つと感じた
- ・プログラミングなどの実践的なスキルが学べる
- ・経済学の知識を実社会のデータ分析に応用できる

また、本専攻に対して、「とても魅力を感じる」、「ある程度魅力を感じる」と回答した学生のうち、「新専攻を受験したいと思いますか」との問いに対する回答は、

- 「受験するつもりである」 … 4名(12.5%)
- 「受験を前向きに検討したい」 … 13名(40.6%)
- 「今のところ予定はないが、関心はある」 … 14名(43.8%)

なお、現時点で大学院への進学を検討していない学生(112名)のうち、7名が「受験を前向きに検討したい」、52名が「今のところ予定はないが、関心がある」と回答している。

これらの結果により、経済数理データ科学専攻(修士課程)の設置構想(養成する人材像、特色等)は、「大学院への進学」を検討している学生のニーズを捉えていると判断することができる。

現時点で就職を考えている学生の中でも、7名が「受験を前向きに検討したい」と回答しており、「受験するつもりである」と回答した4名と、「受験を前向きに検討したい」と回答した20名で、入学定員のうち内部進学枠10名を十分充足できると判断することができる。

#### <国内他大学の学部3年次生へのアンケート調査>

令和7年12月15日から12月26日にかけて、これまで本研究科への入学者が多かった、関西圏、中・四国圏、関東圏を中心とした他大学学生(3年次生)を対象に、経済数理データ科学専攻(修士課程)の概要、養成する人材像等について説明を行い、オンラインによるアンケート調査を実施し、500名から回答を得た。**【資料2】**

回答結果によると、経済数理データ科学専攻を第一志望(経済数理データ科学専攻を「受験したい」と回答した学生で、かつ、「合格した場合、入学したい」と回答した学生)として入学の意思を示した学生8名のうち、3名が令和9年4月(大学卒業後すぐ)に入学を希望している。

また、経済数理データ科学専攻を「受験したい」と回答した学生で、「併願する大学院の結果によっては入学したい」と回答した学生12名は、令和9年4月(大学卒

業後すぐ)に入学を希望している。

なお、本アンケート調査においては、経済数理データ科学専攻のアドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム体系、予定する専任教員など、必要最小限の情報のみを提示して実施していることから、今後、更に詳細なカリキュラム内容や研究内容等について公表されれば、志願者が更に増加する可能性が十分にあると考えられる。

これらの結果から、令和9年度に本専攻への入学が見込まれる他大学の学部3年次生の数は、現時点でも3名が見込まれることから、本専攻が想定している外部受験者5名は適当であると考ええる。

#### (ウ) 学生納付金の設定の考え方

学生納付金は、「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」に基づき、「神戸大学における授業料、入学料、検定料及び寄宿料の額に関する規程」により設定している。

#### (エ) 既設組織の定員充足状況

既設の組織である経済学研究科経済学専攻(博士課程前期課程)[入学定員:83人]の直近5年間(令和3年度から令和7年度)の入学定員充足率は、0.66倍~1.02倍である。

【表1 志願数、合格者数、入学者数の推移(直近5年間)】

年度	入学定員	志願者数		受験者数	合格者数	入学者数(留学生数)	
		志願者数	志願倍率			定員充足率	
令和3年度	83	149	1.80	117	81	60(43)	0.72
令和4年度	83	164	1.98	157	99	55(36)	0.66
令和5年度	83	205	2.47	174	119	65(49)	0.78
令和6年度	83	166	2.00	145	121	85(55)	1.02
令和7年度	83	289	2.89	251	164	77(52)	0.93

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響下であった令和3年度から令和5年度を除くと、1.02倍、0.93倍とコロナ禍以前の水準まで戻ってきていることから、今後も継続的・安定的に入学者を確保することができるものと考ええる。

なお、副次的な効果として、経済学専攻(博士課程前期課程)の入学定員を減(△15人)することで、研究者、エコノミストとしてより適性を持った入学者の選抜が可能となり、教育の実効性が高まる。その結果、博士課程後期課程への進学者が増加することが期待できる。

## 2 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学経済学部経済学科では、令和10年4月の受入れに向けて、「経済数理データ科学教育コース」(受入数:30人程度)を新設することとしており、数理的思考に優れ、

より本コースとの親和性の高い高校生を対象として、理系型入試（英語・数学（理科系））を導入する。本コースを置くことで、学部と大学院の教育を有機的に接続し、切れ目のない一貫教育（体系的な教育課程の編成）を実現するとともに、令和10年4月に入学した学生に対し、修士課程を学部卒業後の主要なキャリアパスとして位置付けるための教育や意識改革を推進し、大学院への内部進学者の増加を目指す。

今後、高等学校に対しては、特にこれまで経済学部への入学者が多い高等学校に向けては、訪問等により進路指導担当教員への本コースの教育課程の特色や入学者選抜方法等についての説明を行うとともに、必要に応じて、模擬講義や大学体験、また、高等学校へ教員を派遣して出張講義を行うなど、学生確保に向けた広報活動を一層強化する予定である。

また、本コースに入学した学生が、令和14年4月に本専攻に進学するまでの間、経過措置として、内部進学者向けに推薦入試枠を設定するとともに、他大学等からの一般選抜を併用することにより、多様な背景を持った学生の受入れを実現する。

さらに、上述の本学部3年次生に対するアンケート調査で、「受験を前向きに検討したい」と回答した学生に対しては、令和8年度から開設する予定のデータサイエンスに関する演習科目（企業との連携による授業）の履修の奨励や、定期的に説明会を実施するなど、本専攻への進学を促していく予定である。

### 3 人材需要の動向等社会の要請

#### （1）人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本専攻では、経済社会に関する人類の知見を継承し、創造的に発展させることを通じて、豊かな人間性を涵養する教育研究を行う。とりわけ、複雑化・高度化する現代社会の諸課題に対応するため、経済学とデータサイエンスの高度な専門性と、学際的な視野を兼ね備えた実践的人材を養成することを目的とする。

#### （2）上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

##### （ア）社会的、地域的な人材需要の動向と必要性

現代社会は、少子高齢化、急速なデジタル化、グローバル化の進展、更には地球規模での環境問題といった未曾有の課題に直面している。これらの課題に対応し、持続可能な未来社会を構築するためには、社会のあらゆる分野において高度な専門性と多角的な視野を持つ人材の育成が急務である。

特に、経済学やデータサイエンスを中心とした文理横断的な教育を強化することが重要であり、経営戦略、市場分析、政策評価などにおいて、数理的モデリングとビッグデータを活用する能力を高めることで、社会課題を解決へと導く成長のエンジ

ンとなる人材を養成する必要性が極めて高い。

さらに、デジタル技術の進展が新たな産業構造を創出し、従来の枠組みを超えた学際的なスキルが求められている。これに対応するためには、柔軟で多角的なアプローチが不可欠である。「我が国の『知の総和』向上の未来像～高等教育システムの再構築～（答申）」（令和7年2月21日 中央教育審議会）においても、デジタル化に対応できる人材の不足が指摘されている。また、現代社会のあらゆる分野におけるデジタル化等の進展を踏まえれば、数理・データサイエンス・AI に関する基礎的な理解やリテラシーに加え、情報やAI を適切に利活用する能力等は市民的素養として培うことがますます重要になっていることにも留意が必要であると指摘している。

#### （イ）人材需要の根拠となる客観的なデータの概要

「経済学研究科経済数理データ科学専攻 修士課程」の修了生の採用が期待される「行政（官公庁・公共機関）」、「金融機関（銀行・保険・証券）」、「調査・コンサルティング」, 「情報・通信」, 「スタートアップ（フィンテック・ヘルスケア・テクノロジー系等）」, 「大学・研究機関」に所属する人事採用担当者並びに上記以外の業種で「マーケティング部門（市場分析・調査を担う部門）」又はそれに相当する部門を有する企業・団体の人材代用担当者にアンケート調査を実施した。

本アンケートは、令和7年12月3日から12月4日に1,116名に配信し、500名から回答を得た。【資料3】

回答結果によると、「経済数理データ科学専攻を修了した学生を採用したいと思いますか。」という問いに対し、244名（48.8%）が採用したいと回答しており、そのうちの84名が、データサイエンティスト採用枠として採用したいと回答している。

また、「単年度で採用可能と思われる採用人数は何人ですか。」の問いに対し、採用意向を示した244名からの回答は、単年度での採用可能人数は合計705名（1人から5人以上合計）であり、そのうち、データサイエンティスト採用枠としての採用可能人数合計は282名であった。

これらの結果により、経済数理データ科学専攻が養成する人材については、将来活躍が想定される企業・団体において、入学定員15人を十分に上回る規模の人材需要があることが分かる。

## 資料目次

資料 1	本学経済学部 3 年次生へのアンケート調査結果	2
資料 2	学部 3 年生（他大学在籍者）を対象とした受験意向・入学意向 調査報告書	4
資料 3	設置構想に係る人材需要調査報告書	36

## 【資料 1】

### ○本学経済学部 3 年次生へのアンケート調査結果

本学経済学部の 3 年次生を対象に、経済数理データ科学専攻修士課程の概要、養成する人材像等について説明を行い、オンラインによるアンケート調査を実施。

【回答人数】 146 名

【集計結果】

問 1. 学部卒業後の進路について、現時点でどのように考えていますか。検討している進路すべてを選択してください。(複数選択可)

回答：

神戸大学の大学院に進学	31 名
他大学の大学院に進学	11 名
民間企業に就職	126 名
公的機関（官公庁、地方自治体などに就職	26 名
その他	1 名

問 2. 新専攻にどの程度魅力を感じますか。

回答：

とても魅力を感じる	38 名 (26.0%)
ある程度魅力をか案じる	83 名 (56.8%)
あまり魅力を感じない	22 名 (15.1%)
全く魅力を感じない	3 名 ( 2.1%)

問 3. 前の質問で「とても魅力を感じる」又は「ある程度魅力を感じる」と答えた方へお聞きします。どのような点に魅力を感じましたか。(複数回答可)

回答：

経済学の知識を実社会のデータ分析に応用できる点	64 名
プログラミングなどの実践的なスキルが学べる点	64 名
将来のキャリアに役立つと感じた点	82 名
他大学にないユニークな専攻である点	16 名
受けてみたい科目がたくさんある点	8 名
必修が計量経済学のみで済む点	1 名

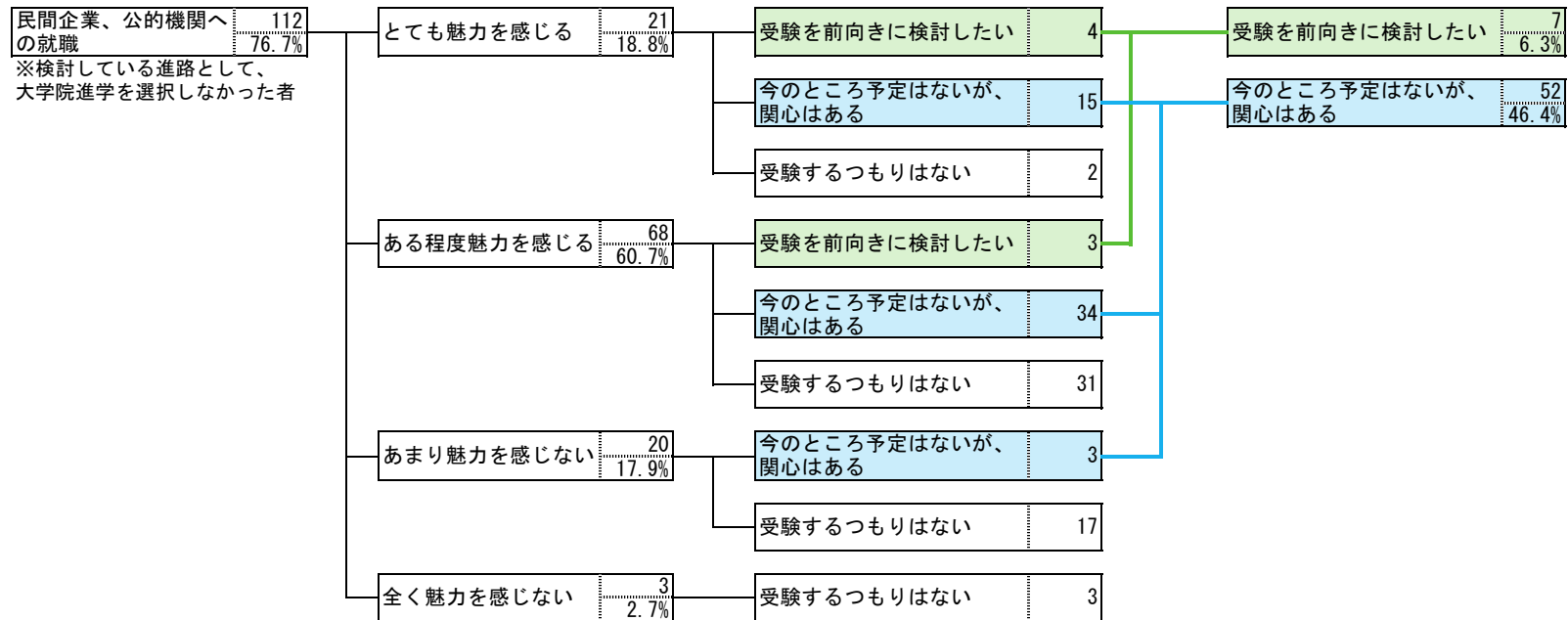
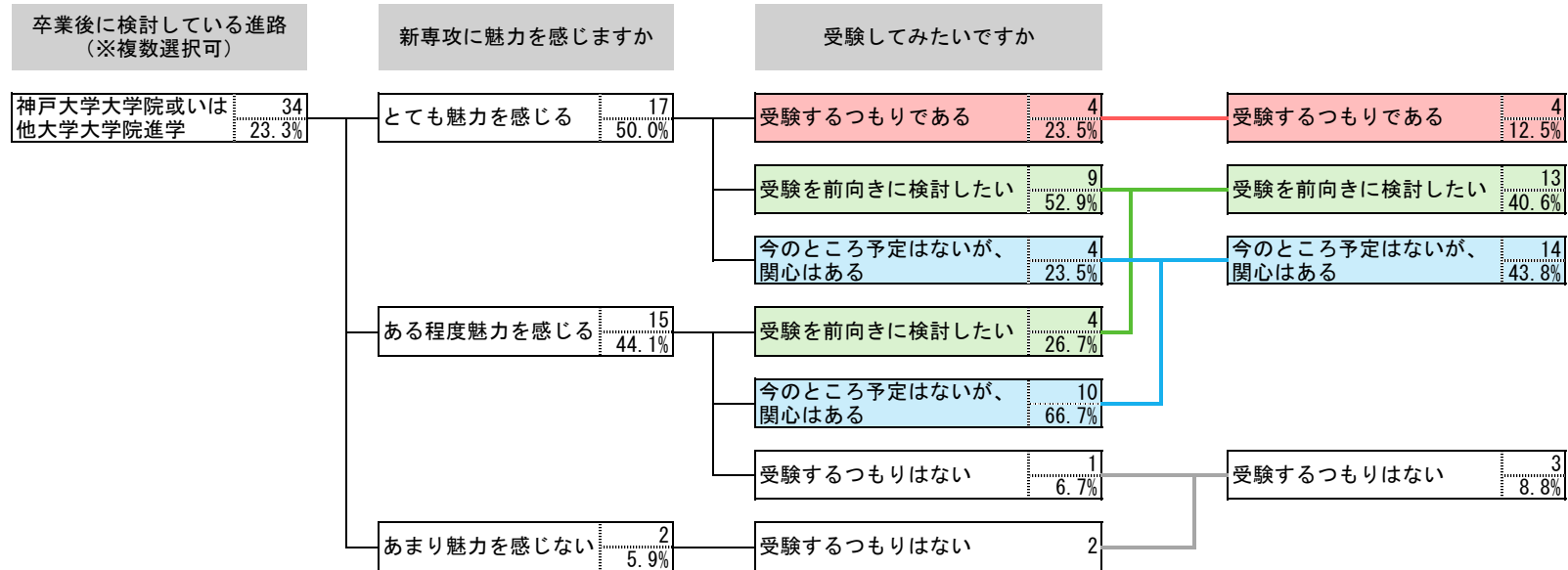
問 4. 新専攻について、あなたは受験をしてみたいと思いますか。

回答：

受験するつもりである	4 名 ( 2.7%)
受験を前向きに検討したい	20 名 (13.7%)
今のところ予定はないが、関心はある	66 名 (45.2%)
受験するつもりはない	56 名 (38.4%)

○本学経済学部3年次生へのアンケート調査（集計票）

回答数  
146



神戸大学大学院

経済学研究科 経済数理データ科学専攻 修士課程

(仮称・2027年4月開設予定・設置構想中)

学部3年生（他大学在籍者）を対象とした

受験意向・入学意向調査報告書

令和8年1月29日

株式会社高等教育総合研究所

## 目次

調査結果サマリー .....	1
第Ⅰ章 調査概要.....	3
・回答者の属性.....	4
・本報告書に記載のデータに関する注意点 .....	6
第Ⅱ章 調査結果.....	7
・受験意向×入学意向×入学時期.....	7
第Ⅲ章 単純集計結果 .....	8
・単純集計表 .....	8
添付資料 .....	14
・概要説明コンテンツ .....	14
・アンケート調査票 .....	21

## ▶調査結果サマリー

以下の結果は、神戸大学が2027年4月に設置を構想している神戸大学大学院経済学研究科「経済数理データ科学専攻 修士課程（仮称）」（以下、当該専攻）への進学が想定される全国の国公私立大学（神戸大学を除く）に在籍する学部3年生500名の回答に基づくものである。

### 【調査の主旨】

本調査は、当該専攻に対する他大学在籍者の受験意向・入学意向および希望入学時期を把握し、外部学生の受入れに向けた募集方針検討の基礎資料を得ることを目的とした。調査対象は、神戸大学を除く全国の国公私立大学に在籍する、当該専攻への進学が想定される学部3年生である。また、対象者の地域構成比は、神戸大学大学院経済学研究科修士1年生の出身大学所在地（神戸大学出身者を除く）の構成比に準拠して設定した。なお、新専攻が有する高い専門性と社会的ニーズの増大は、キャリア形成における進学の優位性を高める要因となり得る。こうした背景から、近年の就職活動の早期化を考慮し、進路意向（Q8）で「就職」と回答した層も、その後の状況変化により進学へ転じる可能性を想定し、Q9以降の設問は全回答者が継続して回答できる設計とした。

### 【調査結果】

#### ① 強い入学意向を示し、2027年4月に入学する見込みの回答者は3名であった。

受験意向を問う設問（以下、Q9）で「受験したい」かつ入学意向を問う設問（以下、Q10）で「入学したい」と回答し、さらに入学時期を問う設問（以下、Q11）で「2027年4月（大学を卒業してすぐ）」と回答した者は3名であった。当該専攻の設置時期（2027年4月）と入学時期が一致しており、外部からの入学見込み層のうち最も確度が高い層と位置づけられる。

#### ② 強い入学意向を示す一方、入学時期が2028年4月以降または時期未定の回答者は5名であった。

Q9で「受験したい」かつQ10で「入学したい」と回答した者のうち、Q11で「2028年4月以降」（1名）または「時期未定」（4名）と回答した者は計5名であった。当該専攻への入学意向は強いものの、卒業後すぐの入学に限定されない層として整理できる。

#### ③ 条件付きの入学意向を示し、2027年4月に入学する見込みの回答者は12名であった。

Q9で「受験したい」と回答し、Q10で「併願する大学院の結果によっては入学したい」

と回答した者のうち、Q11で「2027年4月(大学を卒業してすぐ)」と回答した者は12名であった。当該層は、併願先の結果等の条件により入学に至る可能性がある層である。

**④ 条件付きの入学意向を示す一方、入学時期が時期未定の回答者は2名であった。**

Q9で「受験したい」と回答し、Q10で「併願する大学院の結果によっては入学したい」と回答した者のうち、Q11で「時期未定」と回答した者は2名であった。当該層も同様に、併願先の結果等の条件により入学に至る可能性がある層であり、今後の情報提供や募集方針の検討において重要な対象といえる。

# 第 I 章 調査概要

## 調査の目的

本調査は、神戸大学が令和 9 年 4 月に設置を構想している神戸大学大学院経済学研究科「経済数理データ科学専攻 修士課程（仮称）」について、他大学在籍者の受験意向・入学意向および入学時期の希望を把握し、外部学生の受入れに向けた募集方針の検討に資する基礎資料を得ることを目的として、第三者機関によりアンケート調査を実施したものである。

## 調査対象

当該専攻への進学が想定される、全国の国公立大学（神戸大学を除く）に在籍する学部 3 年生を対象とした。なお、対象者の大学所在地の地域構成比は、神戸大学大学院経済学研究科修士 1 年生の出身大学所在地（神戸大学出身者を除く）の構成比に準拠して設定した。

## 調査期間

令和 7 年 12 月 15 日～令和 7 年 12 月 26 日

## 回収状況

- ・有効回収数：500 件
- ・有効回収率：92.4%
- ・（補足）アンケートフォームへのアクセス数 541 名、うち有効回答 500 名

## 調査項目

質問項目は全 12 問とし、主な項目は以下のとおりである。

- ・回答者の基本情報
- ・回答者が在籍する大学の設置区分／大学の所在地／学部の学問分野
- ・大学卒業後の進路
- ・受験意向／入学意向／入学を希望する時期
- ・受験しない、または入学を迷う理由

## 調査方法

インターネットによるアンケート調査（学生証による本人確認に基づき、同一人物の複数回答は最新回答のみを有効として集計）。

## 調査実施機関

株式会社ガロア

## 調査主体

株式会社高等教育総合研究所

## 回答者の属性 ※詳細は第三章（P8-13）「単純集計表」を参照。

本調査における 500 名の回答者の主な属性は以下のとおりである。

※構成比の高い順（降順）に記載。

### ・性別

- 女性 : 51.2%
- 男性 : 47.0%
- 回答しない : 1.8%

### ・大学の設置区分

- 私立 : 76.2%
- 国立 : 19.0%
- 公立 : 4.8%

### ・大学の所在地 ※回答のあった所在地のみ記載

- 東京 : 40.6%
- 大阪 : 20.8%
- 京都 : 12.2%
- 兵庫 : 10.0%
- 神奈川 : 4.6%
- 岡山 : 1.8%
- 埼玉 : 1.6%
- 滋賀 : 1.4%

- 愛知	: 1.0%
- 千葉	: 0.8%
- 福岡	: 0.8%
- 奈良	: 0.6%
- 北海道	: 0.4%
- 新潟	: 0.4%
- 山梨	: 0.4%
- 岐阜	: 0.4%
- 広島	: 0.4%
- 香川	: 0.4%
- 岩手	: 0.2%
- 栃木	: 0.2%
- 群馬	: 0.2%
- 長野	: 0.2%
- 鳥取	: 0.2%
- 長崎	: 0.2%
- 大分	: 0.2%

・在籍する学部<sup>1)</sup>の学問分野

- 工学	: 12.6%
- 経営学	: 9.6%
- 法・政治学	: 8.2%
- 社会学	: 7.2%
- 経済学	: 6.6%
- 文学	: 6.4%
- 理学	: 5.6%
- その他	: 5.6%
- 語学・言語学	: 4.2%
- 医・歯・薬・看護・保健学	: 4.0%
- 情報学	: 3.8%
- 芸術学	: 3.4%
- 教育学	: 3.2%
- 総合・環境・人間学	: 3.2%
- 心理学	: 2.8%
- 商学・会計学	: 2.8%

- 史学・考古学	: 2.2%
- 国際関係学	: 2.2%
- 農・水産学	: 2.0%
- 福祉学	: 1.6%
- 哲学・倫理学	: 1.2%
- 食物・栄養学	: 1.0%
- 保育・児童学	: 0.6%

## 本報告書に記載のデータに関する注意点

報告書内の表記について

- ・グラフの数値（％）は、小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで表示している。
- ・本文の数値（％）は、小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで表示している。

## 第Ⅱ章 調査結果

### 「受験意向×入学意向×入学時期」

- ① 強い入学意向を示し、2027年4月に入学する見込みの回答者は3名であった。
- ② 強い入学意向を示す一方、入学時期が2028年4月以降または時期未定の回答者は5名であった。
- ③ 条件付きの入学意向を示し、2027年4月に入学する見込みの回答者は12名であった。
- ④ 条件付きの入学意向を示す一方、入学時期が時期未定の回答者は2名であった。

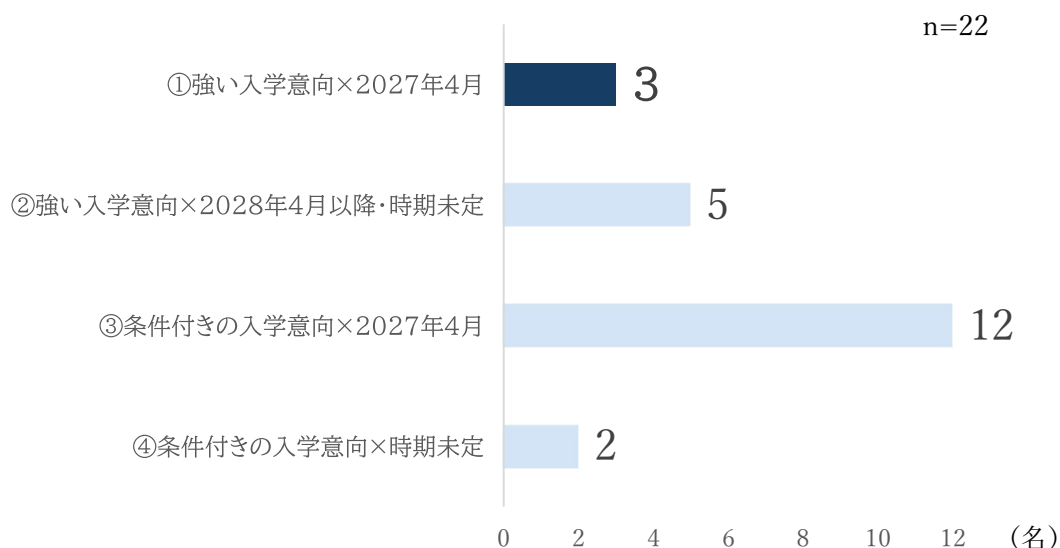


図 1 受験意向×入学意向×入学時期 (Q9×Q10×Q11) 別の回答者数

【データ】 Q9・Q10・Q11 のクロス集計結果を基に、加工・作成

※②の内訳は、強い入学意向×2028年4月以降が1名、強い入学意向×時期未定が4名

※強い入学意向：Q9で「受験したい」、かつQ10で「入学したい」と回答した者

※条件付きの入学意向：Q9で「受験したい」、かつQ10で「併願する大学院の結果によっては入学したい」と回答した者

## 第Ⅲ章 単純集計結果

### 「単純集計表」

Q1\_あなたは大学3回生（学部3年生）ですか？（単一回答）

n=500	回答数	構成比(%)
はい	500	100.0
いいえ	0	0.0

Q2\_あなたは留学生ですか？（単一回答）

n=500	回答数	構成比(%)
はい	1	0.2
いいえ	499	99.8

Q3\_あなたの出身国をお答えください。（単一回答）※Q2で、「はい」と回答した方限定の設問

n=1	回答数	構成比(%)
韓国	1	100.0
台湾	0	0.0
中華人民共和国	0	0.0
モンゴル	0	0.0
インドネシア	0	0.0
ミャンマー	0	0.0
カンボジア	0	0.0
タイ	0	0.0
フィリピン	0	0.0
ネパール	0	0.0
ベトナム	0	0.0
シンガポール	0	0.0

n=1	回答数	構成比(%)
インド	0	0.0
オーストラリア	0	0.0
米国	0	0.0
カナダ	0	0.0
メキシコ	0	0.0
ブラジル	0	0.0
英国	0	0.0
イタリア	0	0.0
ドイツ	0	0.0
フランス	0	0.0
ロシア	0	0.0
トルコ	0	0.0
ナイジェリア	0	0.0
その他	0	0.0

Q4\_あなたの性別をお答えください。(単一回答)

n=500	回答数	構成比(%)
男性	235	47.0
女性	256	51.2
回答しない	9	1.8

Q5\_あなたが在籍する大学の設置区分をお答えください。(単一回答)

n=500	回答数	構成比(%)
国立	95	19.0
公立	24	4.8
私立	381	76.2

Q6\_あなたが在籍する大学の所在地をお答えください。(単一回答)

n=500	回答数	構成比(%)
北海道	2	0.4
青森県	0	0.0
岩手県	1	0.2
宮城県	0	0.0
秋田県	0	0.0
山形県	0	0.0
福島県	0	0.0
茨城県	0	0.0
栃木県	1	0.2
群馬県	1	0.2
埼玉県	8	1.6
千葉県	4	0.8
東京都	203	40.6
神奈川県	23	4.6
新潟県	2	0.4
富山県	0	0.0
石川県	0	0.0
福井県	0	0.0
山梨県	2	0.4
長野県	1	0.2
岐阜県	2	0.4
静岡県	0	0.0
愛知県	5	1.0
三重県	0	0.0
滋賀県	7	1.4
京都府	61	12.2
大阪府	104	20.8
兵庫県	50	10.0
奈良県	3	0.6
和歌山県	0	0.0
鳥取県	1	0.2
島根県	0	0.0

n=500	回答数	構成比(%)
岡山県	9	1.8
広島県	2	0.4
山口県	0	0.0
徳島県	0	0.0
香川県	2	0.4
愛媛県	0	0.0
高知県	0	0.0
福岡県	4	0.8
佐賀県	0	0.0
長崎県	1	0.2
熊本県	0	0.0
大分県	1	0.2
宮崎県	0	0.0
鹿児島県	0	0.0
沖縄県	0	0.0

Q7\_あなたが所属する学部の学問分野をお答えください。(単一回答)

n=500	回答数	構成比(%)
文学	32	6.4
語学・言語学	21	4.2
史学・考古学	11	2.2
哲学・倫理学	6	1.2
心理学	14	2.8
社会学	36	7.2
国際関係学	11	2.2
経済学	33	6.6
経営学	48	9.6
商学・会計学	14	2.8
法・政治学	41	8.2
教育学	16	3.2
保育・児童学	3	0.6
理学	28	5.6

n=500	回答数	構成比(%)
工学	63	12.6
情報学	19	3.8
医・歯・薬・看護・保健学	20	4.0
食物・栄養学	5	1.0
農・水産学	10	2.0
福祉学	8	1.6
総合・環境・人間学	16	3.2
芸術学	17	3.4
その他	28	5.6

Q8\_大学卒業後の進路についてお答えください。(単一回答)

n=500	回答数	構成比(%)
大学院進学	70	14.0
大学院進学と就職で迷っている	73	14.6
就職	354	70.8
その他	3	0.6

Q9\_経済数理データ科学専攻(仮称)を受験したいと思いますか。(単一回答)

n=500	回答数	構成比(%)
受験したい	30	6.0
いいえ	365	73.0
分からない	105	21.0

Q10\_経済数理データ科学専攻(仮称)を受験し合格した場合、入学したいと思いますか(単一回答) ※Q9で、「受験したい」と回答した方限定の設問

n=30	回答数	構成比(%)
入学したい	8	26.7
併願する大学院の結果によっては入学したい	14	46.7

n=30	回答数	構成比(%)
分からない	8	26.7

Q11\_入学を希望する時期をお答えください。(単一回答) ※Q10 で、「入学したい」または「併願する大学院の結果によっては入学したい」と回答した方限定の設問

n=22	回答数	構成比(%)
2027年4月(大学を卒業してすぐ)	15	68.2
2028年4月以降	1	4.5
時期未定	6	27.3

Q12\_受験しない、または入学を迷う理由をお答えください。(単一回答) ※Q9 で「いいえ」または「分からない」と回答した方、または Q9 で「受験したい」と回答し、かつ Q10 で「分からない」と回答した方限定の設問

n=478	回答数	構成比(%)
興味・関心のある分野ではないため	312	65.3
興味・関心のある分野だが、授業内容やカリキュラムの詳細を知ったうえで検討したいため	15	3.1
大学卒業後の進路が明確になったうえで検討したいため	30	6.3
他の大学院への進学を希望しているため	24	5.0
学費の負担が大きいから	44	9.2
自宅から通学が難しいため	26	5.4
授業内容についていけるか不安なため	21	4.4
その他	6	1.3

## 添付資料

概要説明コンテンツ／<https://kobe-data-app-jvus.vercel.app/>



# Background

## 新専攻設置の背景

現代社会はビッグデータとAIを前提に動いています。インターネットやセンサーから生まれる多様なデータが、政策や事業の意思決定を支え、新しいサービスの創出と暮らしの利便性を押し上げています。一方で、気候変動、人口動態の変化、地政学リスクやサプライチェーンの分断などにより、社会・経済の不確実性は高まり、複雑かつ相互依存的な課題が顕在化しています。これらに対処するには、経済理論で現象をモデル化し、因果推論や機械学習で検証・予測する：「理論×データ」の両輪が不可欠です。

### Social background

#### 社会的背景

- データ人材の育成は、国家戦略上の最重要課題
- 政策立案・企業戦略策定・社会課題解決の基盤が「データ活用」へ移行
- 高まる不確実性への対処には、因果推論や機械学習などのデータサイエンスが必須

### Academic background

#### 学術的背景

- 経済学×データサイエンスを同等水準で体系的に学べる大学院は全国的に希少
- 科目の寄せ集めでは高度な統合スキルの獲得は困難
- 両領域の基幹科目を必修系として体系化する専攻の設計が必要

### Industrial needs

#### 産業界からの要請

- 金融、コンサルティング、IT、官公庁などで即戦力人材の需要と採用が拡大
- 経済理論とデータサイエンス技術を併せ持ち、実務課題を解決できる人材が不足
- 信用リスク評価・マーケティング戦略・サプライチェーン最適化・政策評価などデータ人材の活躍領域が拡大



本館（六甲台第1キャンパス）

経済数理データ科学専攻は、経済理論に基づく論理的思考とデータから価値を引き出すデータサイエンス技術を統合し、社会課題に挑む高度専門人材を育成します。実データを用いたPBLや産官学連携を通じて、課題定義から分析・実装・提案までの能力を磨きます。

神戸大学大学院経済学研究科は、120年以上の歴史で培った経済学の学術的蓄積と卓越した教員陣を基盤に、本専攻を設置します。



# Faculty

## 専任教員

### 教授



**小林 照義** (教授)  
研究分野：マクロ経済学、金融政策、ネットワーク科学  
学位（取得校）：経博（名古屋大学）



**清水 崇** (教授)  
研究分野：ミクロ経済理論  
学位（取得校）：経博（東京大学）



**末石 直也** (教授)  
研究分野：計量経済学  
学位（取得校）：Ph.D.（ウィスコンシン大学）

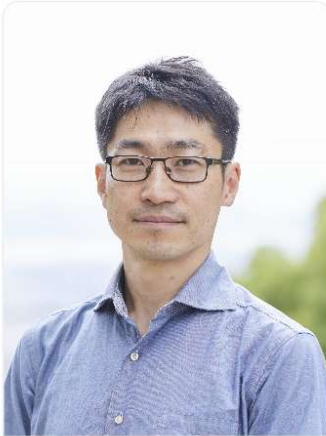


**難波 明生** (教授)  
研究分野：統計学、計量経済学  
学位（取得校）：経博（神戸大学）



**勇上 和史** (教授)  
研究分野：労働経済学  
学位（取得校）：経博（大阪大学）

**准教授**



**大坪 陽一** (准教授)  
研究分野：ファイナンス  
学位（取得校）：Ph.D.（ラトガース大学）



**茂木 快治** (准教授)  
研究分野：計量経済学、時系列分析  
学位（取得校）：Ph.D. in Economics（ノースカロライナ大学チャペルヒル校）



**山岡 淳** (准教授)  
研究分野：社会保障・医療経済学  
学位（取得校）：経博（神戸大学）

**講師**



**糟谷 祐介** (講師)  
研究分野：制度設計論、経済学方法論  
学位（取得校）：経博（横浜国立大学）



**小山田 創哲** (講師)  
研究分野：強化学習  
学位（取得校）：博士（情報学）（京都大学）

# Graduate Profile

## 養成する人物像

高度な経済学とデータサイエンスを融合し、社会課題を解決する実践的スペシャリスト

- 経済学を数理モデルで読み解き、現実の経済問題に応用できる実務家
- 計算科学を駆使して複雑な経済現象を明らかにする実務家
- データサイエンスの技術を用い、実証的な分析を行う専門家
- 数理モデリングとビッグデータ解析で、政策評価や市場分析を科学的に推進するリーダー
- 公共政策や企業経営の課題をデータで発見・解決に導く実務家

### Career path

#### 進路



#### 民間企業

コンサルティング／金融機関／政策分析企業／テック系スタートアップ／企業のマーケティング部門



#### 官公庁・研究機関

EBPM（エビダンスに基づく政策立案）に資する政策立案支援



#### 博士後期課程進学

経済学の高度な理論・手法を深め、国際水準の研究者・高度専門職をめざす

※上記は想定例です。実際の進路は個人の志向により異なります。

# Curriculum

## カリキュラム体系

科目領域	1年/前期	1年/後期	2年/前期	2年/後期
経済学	ミクロ経済学 IA・IB	マクロ経済学 IA・IB	ミクロ経済学 II	マクロ経済学 II 行動ゲーム理論
計量経済学・統計学	計量経済学A	計量経済学B	ミクロデータ分析 ミクロ計量分析	応用時系列分析
データ科学	機械学習 プログラミング	データハンドリング	ベイズ統計理論 機械学習特論 (画像・音声・自然言語処理)	応用機械学習
応用経済学	金融論 現代技術論 日本経済論	財政学 人口政策 ファイナンス	産業組織論 空間経済学 環境経済学	労働経済学 国際マクロ経済学 応用国際経済学
融合領域	データ科学と経済分析	経済学とデータ科学のための数学	因果推論と政策評価	ネットワーク科学と経済分析
演習	演習 PBL演習	演習 PBL演習	演習	演習

※設置構想のため、今後内容に変更が生じる可能性があります。

# Summary

## 概要

### 基本情報

📄 名称 経済学研究科 経済数理データ科学専攻（仮称）	🕒 開設時期 令和9（2027）年4月
👤 入学定員 15名	🎓 取得学位 修士（経済学・データ科学）
🕒 修業年限 2年	📍 所在地 兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1（六甲台キャンパス）

### 設置概要

経済理論に基づく論理的思考と、機械学習・因果推論などのデータサイエンス技術を統合し、「理論×データ」で社会・ビジネスの課題解決を担う高度専門人材を育成します。

### 養成する人物像

- ・ 経済学を数理モデルで読み解き、現実の課題に応用できる実務家
- ・ 計算科学を駆使して複雑な経済現象を明らかにする実務家
- ・ データサイエンスの技術を用い、実証的な分析を行う専門家
- ・ 数理モデリングとビッグデータ解析で、政策評価や市場分析を科学的に推進するリーダー
- ・ 公共政策や企業経営の課題をデータで発見・解決に導く実務家

### 入学対象者

- ・ 経済学・数理モデリング・計算技術・データ解析の知識を深化し統合的に学ぶ意欲を持つ者
- ・ 経済学を基盤に、データサイエンスの手法で課題解決を目指す創造的な思考を備えた者
- ・ 多様な課題に関心を持ち、産官学と協働し学際的アプローチを追求する意欲を持つ者

### 学費等

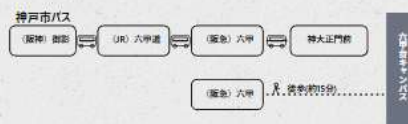
📄 検定料：30,000円 / 入学料：282,000円 / 授業料：年額 535,800円

### アクセス

📍 最寄り駅：阪急「六甲」駅

🚌 神戸市バス（阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から）36系統（鶴甲団地行・鶴甲2丁目止まり）乗車 → 「神大正門前」下車

🚶 阪急「六甲」駅より徒歩 約15～20分



※ 設置構想のため、今後変更になる場合があります。

## アンケート調査票

- ・アンケートの案内文

# 神戸大学大学院経済学研究科 「経済数理データ科学専攻（修士課程）」（仮称・設置構想中）設置構想についてのアンケート調査

神戸大学大学院経済学研究科では、2027年4月に「経済数理データ科学専攻（修士課程）」（仮称・入学定員15名予定）の設置を構想しております。本アンケート調査は、現在大学3年生の皆様からご意見をお伺いし、設置計画および教育内容のいっそうの充実を図ることを目的として実施するものです。

なお、ご回答いただいた皆様から得られた情報は、神戸大学大学院経済学研究科における新専攻設置に係る統計資料、ならびに文部科学省への提出書類の一部資料としてのみ活用いたします。回答データは統計的に処理され、個人が特定される形で公表されることは一切ありません。

お忙しいところ恐れ入りますが、アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

※本アンケート調査は、神戸大学から委託された第三者機関・株式会社高等教育総合研究所が実施しています。

※本アンケート調査や関連する資料に記載されている神戸大学大学院経済学研究科「経済数理データ科学専攻（修士課程）」（仮称）に関する事項はすべて予定であり、今後内容が変更になる可能性があります。

Q1

問1. あなたは大学3回生（学部3年生）ですか？ \*

- はい
- いいえ

Q2

あなたは留学生ですか？ \*

- はい
- いいえ

Q3

「留学生である」と回答した方

あなたの出身国をお答えください。\*

- 韓国
- 台湾
- 中華人民共和国
- モンゴル
- インドネシア
- ミャンマー
- カンボジア
- タイ
- フィリピン
- ネパール
- ベトナム
- シンガポール
- インド
- オーストラリア
- 米国
- カナダ
- メキシコ
- ブラジル
- 英国
- イタリア
- ドイツ
- フランス
- ロシア
- トルコ
- ナイジェリア
- その他: \_\_\_\_\_

Q4

あなたの性別をお答えください。\*

- 男性
- 女性
- 回答しない

Q5

あなたが在籍する大学の設置区分をお答えください。\*

- 国立
- 公立
- 私立

Q6

あなたが在籍する大学の所在地をお答えください。\*

- 北海道
- 青森県
- 岩手県
- 宮城県
- 秋田県
- 山形県
- 福島県
- 茨城県
- 栃木県
- 群馬県
- 埼玉県
- 千葉県
- 東京都
- 神奈川県
- 新潟県
- 富山県
- 石川県
- 福井県
- 山梨県
- 長野県
- 岐阜県
- 静岡県
- 愛知県
- 三重県
- 滋賀県
- 京都府
- 大阪府
- 兵庫県

- 奈良県
- 和歌山県
- 鳥取県
- 島根県
- 岡山県
- 広島県
- 山口県
- 徳島県
- 香川県
- 愛媛県
- 高知県
- 福岡県
- 佐賀県
- 長崎県
- 熊本県
- 大分県
- 宮崎県
- 鹿児島県
- 沖縄県

Q7

あなたが所属する学部の学問分野をお答えください。\*

- 文学
- 語学・言語学
- 史学・考古学
- 哲学・倫理学
- 心理学
- 社会学
- 国際関係学
- 経済学
- 経営学
- 商学・会計学
- 法・政治学
- 教育学
- 保育・児童学
- 理学
- 工学
- 情報学
- 医・歯・薬・看護・保健学
- 食物・栄養学
- 農・水産学
- 福祉学
- 総合・環境・人間学
- 芸術学
- その他: \_\_\_\_\_

Q8

大学卒業後の進路についてお答えください。\*

- 大学院進学
- 大学院進学と就職で迷っている
- 就職
- その他: \_\_\_\_\_

・新専攻概要説明コンテンツの案内

下記のPRサイトを見た上で、次のセクションに進んでください。

<https://kobe-data-app-jvus.vercel.app/>

Q9

経済数理データ科学専攻（仮称）を受験したいと思いますか？\*

- 受験したい
- いいえ
- 分からない

Q10

経済数理データ科学専攻(仮称)を「受験したい」と回答した方へ

経済数理データ科学専攻（仮称）を受験し合格した場合、入学したいと思います \*  
か？

- 入学したい
- 併願する大学院の結果によっては入学したい
- 分からない

Q11

経済数理データ科学専攻(仮称)を受験し合格した場合、「入学したい」もしくは  
「併願する大学院の結果によっては入学したい」と回答した方へ

入学を希望する時期をお答えください。 \*

- 2027年4月（大学を卒業してすぐ）
- 2028年4月以降
- 時期未定

Q12

経済数理データ科学専攻（仮称）を「受験したくない」「分からない」と回答した方、もしくは経済数理データ科学専攻（仮称）を受験し合格した場合、「入学したいかどうかは分からない」と回答した方へ

受験しない、または入学を迷う理由をお答えください。\*

- 興味・関心のある分野ではないため
- 興味・関心のある分野だが、授業内容やカリキュラムの詳細を知ったうえで検討したいため
- 大学卒業後の進路が明確になったうえで検討したいため
- 他の大学院への進学を希望しているため
- 学費の負担が大きいため
- 自宅から通学が難しいため
- 授業内容についていけるか不安なため
- その他: \_\_\_\_\_

神戸大学大学院

経済学研究科 経済数理データ科学専攻（仮称）

修士課程

設置構想に係る人材需要調査報告書

令和8年1月20日

株式会社高等教育総合研究所

## 目次

調査結果サマリー .....	1
第Ⅰ章 調査概要.....	2
・ 回答者の属性.....	3
・ 本報告書に記載のデータに関する注意点 .....	5
第Ⅱ章 調査結果.....	6
・ 採用意向 .....	6
・ 採用人数.....	7
・ 参考データ .....	8
第Ⅲ章 調査概要（単純集計表） .....	10
・ スクリーニング調査.....	10
・ 本調査.....	12
添付資料 .....	16
・ 概要説明コンテンツ .....	16
・ アンケート調査票 .....	23

## ▶調査結果サマリー

以下の結果は、「神戸大学大学院経済学研究科経済数理データ科学専攻 修士課程（仮称）」（以下、当該専攻と記す）の修了生の採用が想定される全国の企業・団体において、人材採用に関わる計 500 名からの回答に基づくものである。

### 【調査の主旨】

当該専攻修了生の人材需要を把握するため、進路先として想定される「行政（官公庁・公共機関）」「金融機関（銀行・保険・証券）」「調査・コンサルティング」「情報・通信」「スタートアップ（フィンテック・ヘルスケア・テクノロジー系等）」「大学・研究機関」に所属する人材採用担当者、ならびに上記以外の業種で「マーケティング部門（市場分析・調査を担う部門）」またはそれに相当する部門を有する企業・団体の人材採用担当者を対象に、人材需要調査を実施した。

また、近年データサイエンティスト採用枠を設ける企業・団体が増加している状況を踏まえ、アンケート対象者 500 名に対して「データサイエンティスト採用枠の有無」を確認し、当該採用枠を有すると回答した者には、データサイエンティスト採用枠としての採用意向についても併せて尋ねた。

### 【採用意向】

**採用意向を示した者は 244 名で、そのうち 84 名はデータサイエンティスト採用枠での採用意向を示した**

500 名の回答者のうち、採用意向を問う設問（Q4）において「データサイエンティスト採用枠として採用したい」または「採用したいと思う」と回答した者は 244 名（全体の 48.8%）であった。その内訳は、「データサイエンティスト採用枠として採用したい」と回答した者が 84 名、「採用したいと思う」と回答した者が 160 名であった。

### 【採用人数】

**単年度における採用可能人数の合計は 705 名であった**

採用意向を示した 244 名が設問（Q5）で回答した「単年度における採用可能人数」の合計は 705 名であった。そのうちデータサイエンティスト採用枠としての採用可能人数は 282 名であった。

以上の結果から、当該専攻が養成する人材については、将来活躍が想定される企業・団体において、入学定員 15 名を十分に上回る規模の人材需要が示された。

# 第Ⅰ章 調査概要

## 調査の目的

本調査は、神戸大学が令和 9 年 4 月に設置を構想している神戸大学大学院経済学研究科「経済数理データ科学専攻 修士課程（仮称）」における修了生の人材需要を把握することを目的として、第三者機関によりアンケート調査を実施したものである。

## 調査対象

当該専攻修了生の採用が想定される「行政（官公庁・公共機関）」「金融機関（銀行・保険・証券）」「調査・コンサルティング」「情報・通信」「スタートアップ（フィンテック・ヘルスケア・テクノロジー系等）」「大学・研究機関」に所属する人材採用担当者、ならびに上記以外の業種で「マーケティング部門（市場分析・調査を担う部門）」またはそれに相当する部門を有する企業・団体の人材採用担当者を対象とした。

## 調査期間

令和 7 年 12 月 3 日～令和 7 年 12 月 4 日

## 回収状況

有効回収数 500 件 有効回収率 44.8%

※スクリーニング調査で計 1,116 名にアンケートを配信し、本調査の対象条件に該当する 500 名から回答を回収。

## 調査項目

### ▶ スクリーニング調査

質問項目は全 6 問とし、主な項目は以下のとおりである。

- ・回答者の基本情報
- ・回答者が所属する企業・団体の業種
- ・マーケティング部門（市場分析・調査を担う部署）またはそれに相当する部門の有無

### ▶ 本調査

質問項目は全 7 問とし、主な項目は以下のとおりである。

- ・回答者が所属する企業・団体の基本情報
- ・データサイエンティスト採用枠の有無
- ・データサイエンティストのキャリアパス
- ・当該専攻修了生の採用意向／データサイエンティスト採用枠としての採用意向

## 調査方法

インターネットによるアンケート調査

## 調査実施機関

株式会社クロス・マーケティング

## 調査主体

株式会社高等教育総合研究所

## 回答者の属性 ※詳細は 10～14 ページの単純集計表を参照

本調査における 500 名の回答者の主な属性は以下のとおりである。

※構成比の高い順に（降順）に記載。

- ・業種
  - その他 : 19.6%
  - 情報・通信 : 13.0%
  - その他製造業 : 12.4%
  - 金融機関（銀行・保険・証券） : 10.2%
  - 行政サービス（官公庁・公共機関） : 8.8%
  - 卸売・小売 : 7.0%
  - 不動産・賃貸 : 5.4%
  - 建設 : 4.4%
  - 運送・倉庫 : 4.0%
  - 総合商社 : 3.2%
  - スタートアップ（フィンテック等） : 2.8%
  - 電力・ガス : 2.4%
  - 電気機器 : 2.0%
  - 半導体・精密機器 : 1.6%

- 大学・研究機関 : 1.4%
- 輸送機器 : 1.2%
- 調査・コンサルティング : 0.4%
- 新聞・放送病院・診療所 : 0.2%

・企業・団体の所在地

- 東京 : 32.8%
- 大阪 : 11.2%
- 神奈川 : 6.6%
- 愛知 : 5.4%
- 兵庫 : 4.4%
- 北海道 : 3.8%
- 千葉 : 3.8%
- 埼玉 : 3.0%
- 福岡 : 3.0%
- 静岡 : 2.2%
- 京都 : 2.2%
- 広島 : 1.6%
- 宮城 : 1.4%
- 新潟 : 1.4%
- 茨城 : 1.2%
- 岐阜 : 1.2%
- 奈良 : 1.2%
- 岡山 : 1.0%
- 栃木 : 6.8%
- 富山 : 0.8%
- 石川 : 0.8%
- 滋賀 : 0.8%
- 和歌山 : 0.8%
- 鳥取 : 0.8%
- 長崎 : 0.8%
- 熊本 : 0.8%
- 沖縄 : 0.8%
- 徳島 : 0.6%
- 愛媛 : 0.6%
- 宮崎 : 0.6%

- 鹿児島	: 0.6%
- 山形	: 0.4%
- 福島	: 0.4%
- 島根	: 0.4%
- 香川	: 0.4%
- 青森	: 0.2%
- 岩手	: 0.2%
- 秋田	: 0.2%
- 群馬	: 0.2%
- 福井	: 0.2%
- 長野	: 0.2%
- 大分	: 0.2%

・従業員数

- 5,000人以上	: 19.4%
- 50人未満	: 15.8%
- 100人～299人	: 15.2%
- 1,000人～2,999人	: 14.4%
- 500人～999人	: 12.0%
- 300人～499人	: 9.8%
- 50人～99人	: 7.4%
- 3,000人～4,999人	: 6.0%

## 本報告書に記載のデータに関する注意点

報告書内の表記について

- ・グラフの数値（％）は、小数第二位を四捨五入して表示している。
- ・本文の数値（％）は、小数第二位を四捨五入して表示している。

## 第Ⅱ章 調査結果

### 「採用意向」

- ▶244名（全体の48.8%）が当該専攻修了生の採用意向を示した。
- ▶採用意向を示した244名のうち、84名（全体の16.8%）がデータサイエンティスト採用枠での採用意向を示した。

Q4：神戸大学大学院経済学研究科「経済数理データ科学専攻（修士課程）」（仮称）を修了した学生を採用したいと思いますか。

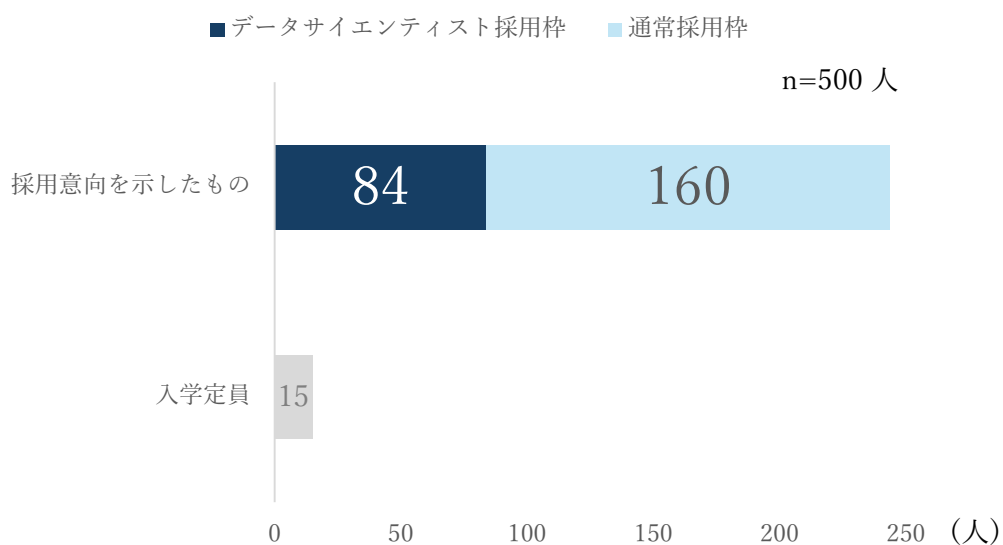


図1 「経済数理データ科学専攻（仮称）」修了生の採用意向  
【データ】Q4の集計結果を基に、筆者が加工・作成

## 「採用人数」

- ▶ 単年度の採用可能人数の合計は 705 名であった。
- ▶ データサイエンティスト採用枠としての採用可能人数合計は 282 名であった。

Q5：単年度で採用可能と思われる採用人数は何人ですか。

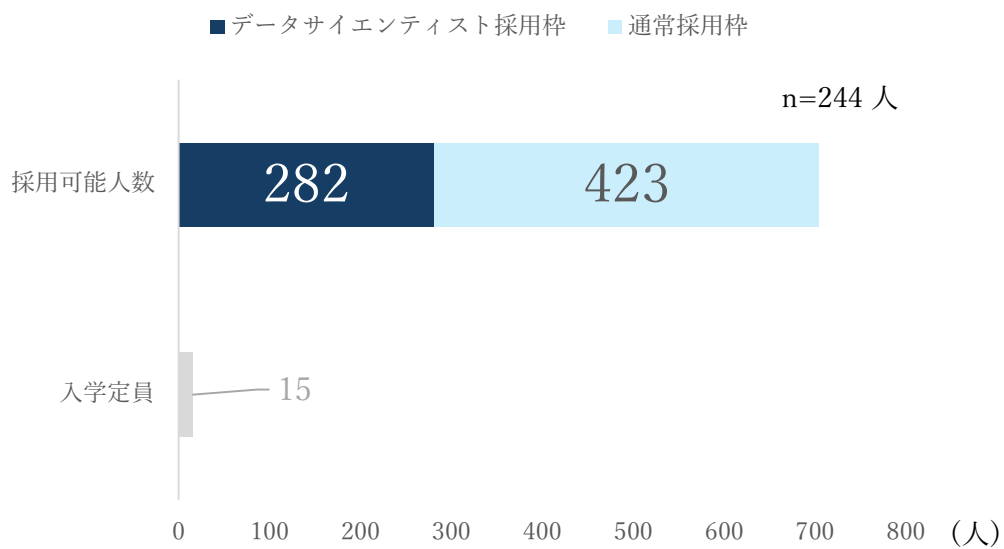


図 2 単年度の採用可能人数と入学定員

【データ】Q5 の集計結果を基に、筆者が加工・作成

※Q5 で「5 人以上」を選択した回答は、5 名として集計。

※Q5 で「わからない」を選択した 15 名の結果は除外。

## 「参考データ」

### 1. 業種別のデータサイエンティスト採用枠での採用可能人数

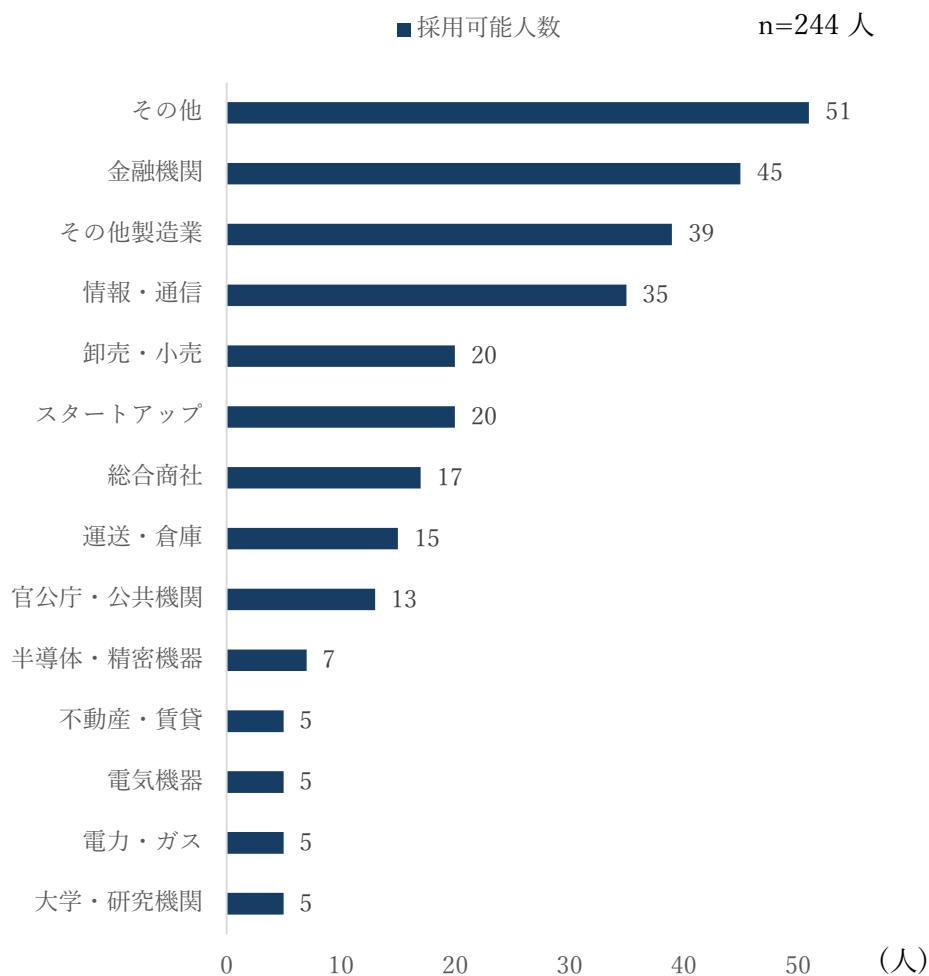


図 3 業種別のデータサイエンティスト採用枠としての採用可能人数

【データ】 Q5 の集計結果を基に、筆者が加工・作成

※Q5 で「5人以上」を選択した回答は、5名として集計。

※Q5 で「わからない」を選択した 15名の結果は除外。

## 2. 業種別のデータサイエンティスト採用率（あり）の割合

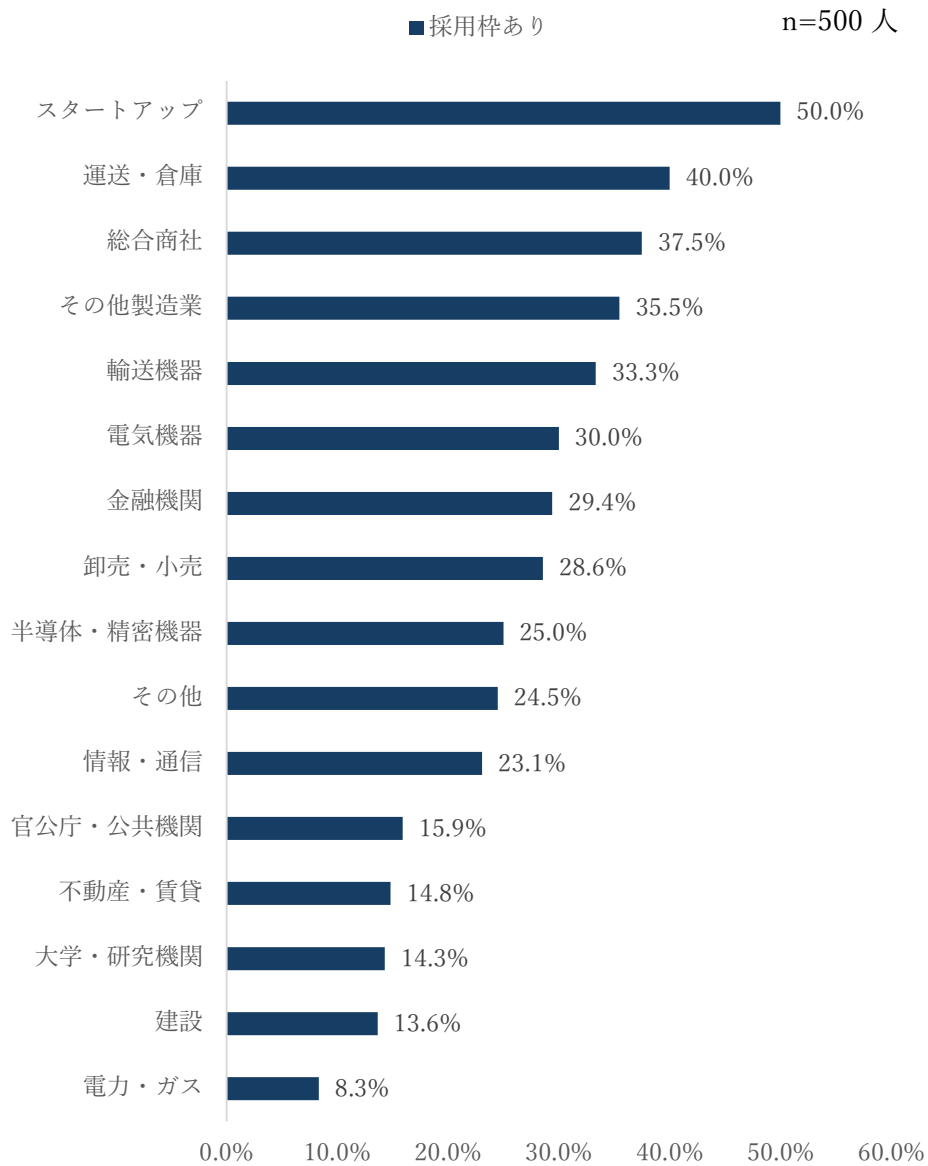


図 4 業種別のデータサイエンティスト採用率（あり）の割合  
【データ】SQ3 の集計結果を基に、筆者が加工・作成

## 第Ⅲ章 調査概要（単純集計表）

### 「スクリーニング調査」

SC1\_あなたの性別をお答えください。（単一回答）

n=500	回答数	構成比(%)
男性	410	82.0
女性	90	18.0

SC2\_あなたの年齢をお答えください。（単一回答）

n=500	年齢
平均値	51.4
最小値	22
最大値	81

SC3\_あなたの現在の職業をお答えください。（単一回答）

n=500	回答数	構成比(%)
会社勤務（一般社員）	107	21.4
会社勤務（管理職）	257	51.4
会社経営（経営者・役員）	85	17.0
公務員・教職員・非営利団体職員	41	8.2
派遣社員・契約社員	0	0.0
自営業（商工サービス）	9	1.8
農林漁業	0	0.0
専門職（公認会計士・弁護士・税理士等の経営法務の専門職）	0	0.0
専門職（医師等の医療関連の専門職）	1	0.2
パート・アルバイト	0	0.0
その他の職業	0	0.0

n=500	回答数	構成比(%)
専業主婦・主夫	0	0.0
学生	0	0.0
無職	0	0.0

SC4\_あなたの業務に、人材採用に関わる業務は含まれていますか。(単一回答)

n=500	回答数	構成比(%)
はい	500	100.0
いいえ	0	0.0

SC5\_お勤め先の業種についてお答えください。(単一回答)

n=500	回答数	構成比(%)
行政サービス (官公庁・公共機関)	44	8.8
金融機関 (銀行・保険・証券)	51	10.2
調査・コンサルティング	2	0.4
情報・通信	65	13.0
スタートアップ (フィンテック、ヘルスケア、テクノロジー系等)	14	2.8
大学・研究機関	7	1.4
建設	22	4.4
電気機器	10	2.0
輸送機器	6	1.2
半導体・精密機器	8	1.6
その他製造業	62	12.4
電力・ガス	12	2.4
運送・倉庫	20	4.0
総合商社	16	3.2
卸売・小売	35	7.0
不動産・賃貸	27	5.4
新聞・放送	1	0.2
その他	98	19.6

SC6\_お勤め先には、マーケティング部門（市場分析・調査を担う部署）またはそれに相当する部門はありますか。（単一回答）

n=317	回答数	構成比(%)
はい	317	100.0
いいえ	0	0.0

## 「本調査」

Q1\_お勤め先の所在地をお答えください。（単一回答）

n=500	回答数	構成比(%)
北海道	19	3.8
青森県	1	0.2
岩手県	1	0.2
宮城県	7	1.4
秋田県	1	0.2
山形県	2	0.4
福島県	2	0.4
茨城県	6	1.2
栃木県	4	0.8
群馬県	1	0.2
埼玉県	15	3.0
千葉県	19	3.8
東京都	164	32.8
神奈川県	33	6.6
新潟県	7	1.4
富山県	4	0.8
石川県	4	0.8
福井県	1	0.2
山梨県	0	0.0
長野県	1	0.2
岐阜県	6	1.2

n=500	回答数	構成比(%)
静岡県	11	2.2
愛知県	27	5.4
三重県	0	0.0
滋賀県	4	0.8
京都府	11	2.2
大阪府	56	11.2
兵庫県	22	4.4
奈良県	6	1.2
和歌山県	4	0.8
鳥取県	4	0.8
島根県	2	0.4
岡山県	5	1.0
広島県	8	1.6
山口県	0	0.0
徳島県	3	0.6
香川県	2	0.4
愛媛県	3	0.6
高知県	0	0.0
福岡県	15	3.0
佐賀県	0	0.0
長崎県	4	0.8
熊本県	4	0.8
大分県	1	0.2
宮崎県	3	0.6
鹿児島県	3	0.6
沖縄県	4	0.8

Q2\_お勤め先の従業員数（正規社員数）をお答えください。（単一回答）

n=500	回答数	構成比(%)
50人未満	79	15.8
50人～99人	37	7.4
100人～299人	76	15.2

n=500	回答数	構成比(%)
300人～499人	49	9.8
500人～999人	60	12.0
1,000人～2,999人	72	14.4
3,000人～4,999人	30	6.0
5,000人以上	97	19.4

SQ3\_お勤め先では、データサイエンティストの採用枠はございますか。(単一回答)

n=500	回答数	構成比(%)
はい	130	26.0
検討中	147	29.4
いいえ	223	44.6

SQ4\_データサイエンティストとして採用された方のキャリアパスは、従来の総合職とは異なりますか。(単一回答)

n=130	回答数	構成比(%)
はい	104	80.0
いいえ	26	20.0

SQ5\_具体的にどのような点で異なりますか。(複数回答可)

n=104	回答数	構成比(%)
専門職としての昇進制度が設けられている	73	70.2
給与体系・評価制度が異なる	71	68.3
職務内容が専門領域に固定される	59	56.7
育成・研修制度が独立している	26	25.0
その他	1	1.0

Q4\_神戸大学大学院経済学研究科「経済数理データ科学専攻（修士課程）」（仮称）を修了した学生を採用したいと思いますか。（単一回答）

n=500	回答数	構成比(%)
データサイエンティスト採用枠として採用したい	84	16.8
採用したいと思う	160	32.0
わからない	169	33.8
採用しない	87	17.4

Q5\_単年度で採用可能と思われる採用人数は何人ですか。（単一回答）

n=244	回答数	構成比(%)
1人	36	14.8
2人	58	23.8
3人	54	22.1
4人	14	5.7
5人以上	67	27.5
わからない	15	6.1

## 添付資料

概要説明コンテンツ／<https://kobe-data-app-jvus.vercel.app/>



Kobe U  
KOBE UNIVERSITY

# Economics × Data Science

神戸大学大学院経済学研究科  
経済数理データ科学専攻（仮称・設置構想中）

Scroll

The banner features a dark background with a starry space pattern. The text is centered and uses a clean, sans-serif font. The Kobe University logo is in the top left corner. A small 'Scroll' indicator is at the bottom center.



Kobe U  
KOBE UNIVERSITY

## Mission

神戸大学大学院経済学研究科では、2027年4月に経済数理データ科学専攻修士課程（仮称）の設置を構想しています。本専攻では、経済学とデータサイエンスを融合した文理横断的教育を通じて、数理モデルやビッグデータを駆使し、経営戦略・市場分析・政策評価などの分野で社会課題を解決できる人材を育成します。

※本事業は文部科学省への設置申請に向けて構想中のものであり、今後変更が生じる可能性があります。

The banner features a silhouette of a person wearing glasses, looking thoughtfully to the right. The background is dark with a warm, orange glow from the left. On the right side, there are faint, glowing digital interface elements like charts and data points. The text is on the left side, with the Kobe University logo at the top left.

# Background

## 新専攻設置の背景

現代社会はビッグデータとAIを前提に動いています。インターネットやセンサーから生まれる多様なデータが、政策や事業の意思決定を支え、新しいサービスの創出と暮らしの利便性を押し上げています。一方で、気候変動、人口動態の変化、地政学リスクやサプライチェーンの分断などにより、社会・経済の不確実性は高まり、複雑かつ相互依存的な課題が顕在化しています。これらに対処するには、経済理論で現象をモデル化し、因果推論や機械学習で検証・予測する：「理論×データ」の両輪が不可欠です。

## Social background

### 社会的背景

- データ人材の育成は、国家戦略上の最重要課題
- 政策立案・企業戦略策定・社会課題解決の基盤が「データ活用」へ移行
- 高まる不確実性への対処には、因果推論や機械学習などのデータサイエンスが必須

## Academic background

### 学術的背景

- 経済学×データサイエンスを同等水準で体系的に学べる大学院は全国的に希少
- 科目の寄せ集めでは高度な統合スキルの獲得は困難
- 両領域の基幹科目を必修系として体系化する専攻の設計が必要

## Industrial needs

### 産業界からの要請

- 金融、コンサルティング、IT、官公庁などで即戦力人材の需要と採用が拡大
- 経済理論とデータサイエンス技術を併せ持ち、実務課題を解決できる人材が不足
- 信用リスク評価・マーケティング戦略・サプライチェーン最適化・政策評価などデータ人材の活躍領域が拡大



本館（六甲台第1キャンパス）

経済数理データ科学専攻は、経済理論に基づく論理的思考とデータから価値を引き出すデータサイエンス技術を統合し、社会課題に挑む高度専門人材を育成します。実データを用いたPBLや産官学連携を通じて、課題定義から分析・実装・提案までの能力を磨きます。

神戸大学大学院経済学研究科は、120年以上の歴史で培った経済学の学術的蓄積と卓越した教員陣を基盤に、本専攻を設置します。



# Faculty

## 専任教員

### 教授



**小林 照義** (教授)  
研究分野：マクロ経済学、金融政策、ネットワーク科学  
学位（取得校）：経博（名古屋大学）



**清水 崇** (教授)  
研究分野：ミクロ経済理論  
学位（取得校）：経博（東京大学）



**末石 直也** (教授)  
研究分野：計量経済学  
学位（取得校）：Ph.D.（ウィスコンシン大学）

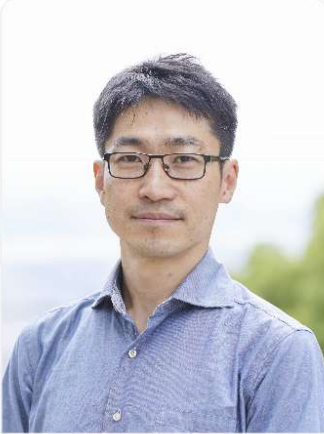


**難波 明生** (教授)  
研究分野：統計学、計量経済学  
学位（取得校）：経博（神戸大学）



**勇上 和史** (教授)  
研究分野：労働経済学  
学位（取得校）：経博（大阪大学）

**准教授**



**大坪 陽一** (准教授)  
研究分野：ファイナンス  
学位（取得校）：Ph.D.（ラトガース大学）



**茂木 快治** (准教授)  
研究分野：計量経済学、時系列分析  
学位（取得校）：Ph.D. in Economics（ノースカロライナ大学チャペルヒル校）



**山岡 淳** (准教授)  
研究分野：社会保障・医療経済学  
学位（取得校）：経博（神戸大学）

**講師**



**糟谷 祐介** (講師)  
研究分野：制度設計論、経済学方法論  
学位（取得校）：経博（横浜国立大学）



**小山田 創哲** (講師)  
研究分野：強化学習  
学位（取得校）：博士（情報学）（京都大学）

# Graduate Profile

## 養成する人物像

高度な経済学とデータサイエンスを融合し、社会課題を解決する実践的スペシャリスト

- 経済学を数理モデルで読み解き、現実の経済問題に応用できる実務家
- 計算科学を駆使して複雑な経済現象を明らかにする実務家
- データサイエンスの技術を用い、実証的な分析を行う専門家
- 数理モデリングとビッグデータ解析で、政策評価や市場分析を科学的に推進するリーダー
- 公共政策や企業経営の課題をデータで発見・解決に導く実務家

### Career path

#### 進路



#### 民間企業

コンサルティング／金融機関／政策分析企業／テック系スタートアップ／企業のマーケティング部門



#### 官公庁・研究機関

EBPM（エビダンスに基づく政策立案）に資する政策立案支援



#### 博士後期課程進学

経済学の高度な理論・手法を深め、国際水準の研究者・高度専門職をめざす

※上記は想定例です。実際の進路は個人の志向により異なります。

# Curriculum

## カリキュラム体系

科目領域	1年/前期	1年/後期	2年/前期	2年/後期
経済学	ミクロ経済学 IA・IB	マクロ経済学 IA・IB	ミクロ経済学 II	マクロ経済学 II 行動ゲーム理論
計量経済学・統計学	計量経済学A	計量経済学B	ミクロデータ分析 ミクロ計量分析	応用時系列分析
データ科学	機械学習 プログラミング	データハンドリング	ベイズ統計理論 機械学習特論 (画像・音声・自然言語処理)	応用機械学習
応用経済学	金融論 現代技術論 日本経済論	財政学 人口政策 ファイナンス	産業組織論 空間経済学 環境経済学	労働経済学 国際マクロ経済学 応用国際経済学
融合領域	データ科学と経済分析	経済学とデータ科学のための数学	因果推論と政策評価	ネットワーク科学と経済分析
演習	演習 PBL演習	演習 PBL演習	演習	演習

※設置構想のため、今後内容に変更が生じる可能性があります。

# Summary

## 概要

### 基本情報

📄 名称 経済学研究科 経済数理データ科学専攻（仮称）	🕒 開設時期 令和9（2027）年4月
👤 入学定員 15名	🎓 取得学位 修士（経済学・データ科学）
🕒 修業年限 2年	📍 所在地 兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1（六甲台キャンパス）

### 設置概要

経済理論に基づく論理的思考と、機械学習・因果推論などのデータサイエンス技術を統合し、「理論×データ」で社会・ビジネスの課題解決を担う高度専門人材を育成します。

### 養成する人物像

- ・ 経済学を数理モデルで読み解き、現実の課題に応用できる実務家
- ・ 計算科学を駆使して複雑な経済現象を明らかにする実務家
- ・ データサイエンスの技術を用い、実証的な分析を行う専門家
- ・ 数理モデリングとビッグデータ解析で、政策評価や市場分析を科学的に推進するリーダー
- ・ 公共政策や企業経営の課題をデータで発見・解決に導く実務家

### 入学対象者

- ・ 経済学・数理モデリング・計算技術・データ解析の知識を深化し統合的に学ぶ意欲を持つ者
- ・ 経済学を基盤に、データサイエンスの手法で課題解決を目指す創造的な思考を備えた者
- ・ 多様な課題に関心を持ち、産官学と協働し学際的アプローチを追求する意欲を持つ者

### 学費等

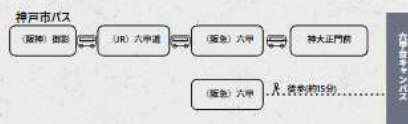
📄 検定料：30,000円 / 入学料：282,000円 / 授業料：年額 535,800円

### アクセス

📍 最寄り駅：阪急「六甲」駅

🚌 神戸市バス（阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から）36系統（鶴甲団地行・鶴甲2丁目止まり）乗車 → 「神大正門前」下車

🚶 阪急「六甲」駅より徒歩 約15～20分



※ 設置構想のため、今後変更になる場合があります。

# アンケート調査票

## 1. 「スクリーニング調査」

### SC1

あなたの性別をお答えください。

- 1  男性
- 2  女性

### SC2

あなたの年齢をお答えください。

歳

次へ

### SC3

あなたの現在の職業をお答えください。

- 1  会社勤務(一般社員)
- 2  会社勤務(管理職)
- 3  会社経営(経営者・役員)
- 4  公務員・教職員・非営利団体職員
- 5  派遣社員・契約社員
- 6  自営業(商工サービス)
- 7  農林漁業
- 8  専門職(公認会計士・弁護士・税理士等の経営法務の専門職)
- 9  専門職(医師等の医療関連の専門職)
- 10  パート・アルバイト
- 11  その他の職業
- 12  専業主婦・主夫
- 13  学生
- 14  無職

次へ

#### SC4

あなたの業務に、人材採用に関わる業務は含まれていますか。

- 1  はい
- 2  いいえ

次へ

#### SC5

お勤め先の業種についてお答えください。

(最もあてはまるもの1つをお選びください)

- 1  行政サービス(官公庁・公共機関)
- 2  金融機関(銀行・保険・証券)
- 3  調査・コンサルティング
- 4  情報・通信
- 5  スタートアップ(フィンテック、ヘルスケア、テクノロジー系等)
- 6  大学・研究機関
- 7  建設
- 8  電気機器
- 9  輸送機器
- 10  半導体・精密機器
- 11  その他製造業
- 12  電力・ガス
- 13  運送・倉庫
- 14  総合商社
- 15  卸売・小売
- 16  不動産・賃貸
- 17  新聞・放送
- 18  その他

次へ

SC6

お勤め先には、マーケティング部門(市場分析・調査を担う部署)またはそれに相当する部門はありますか。

- 1  はい
- 2  いいえ

## 2. 「本調査」

アンケート画面開始

Page 1

神戸大学大学院経済学研究科  
「経済数理データ科学専攻(修士課程)」(仮称・設置構想中)  
設置構想についてのアンケート調査

神戸大学大学院経済学研究科では、2027年4月に「経済数理データ科学専攻(修士課程)」(仮称・入学定員15名予定)の設置を構想しております。本学ではこのアンケート調査を通して、将来修士生の採用をご検討いただく皆様からご意見を賜り、広く社会に貢献できる人材輩出を行ってまいりたいと考えております。

なお、ご回答いただいた皆様から得られた情報は、神戸大学大学院経済学研究科の新専攻の設置に係る統計資料ならびに、文部科学省への提出書類の一部資料としてのみ活用いたします。アンケートの回答は統計的に処理され、特定の企業・機関が識別できる情報として、公表されることはありません。

何卒ご協力のほど、謹んでお願い申し上げます。

※本アンケート調査は、神戸大学から委託された第三者機関・株式会社高等教育総合研究所が実施しています。

※本アンケート調査や関連する資料に記載されている神戸大学大学院経済学研究科「経済数理データ科学専攻(修士課程)」(仮称)に関する事項はすべて予定であり、今後内容が変更になる可能性があります。

### Q1

お勤め先の所在地をお答えください。

## Q2

お勤め先の従業員数(正規社員数)をお答えください。

- 1  50人未満
- 2  50人～99人
- 3  100人～299人
- 4  300人～499人
- 5  500人～999人
- 6  1,000人～2,999人
- 7  3,000人～4,999人
- 8  5,000人以上

次へ

## Page 2

神戸大学大学院経済学研究科「経済数理データ科学専攻(修士課程)」特設サイト URLをクリックいただき、新専攻の概要や養成する人物像等をご確認のうえ、以下に続く設問にご回答ください。  
<https://kobe-data-app-jvus.vercel.app/>

次へ

## Page 3

### SQ3

お勤め先では、データサイエンティストの採用枠はございますか。

- 1  はい
- 2  検討中
- 3  いいえ

次へ

SQ4

データサイエンティストとして採用された方のキャリアパスは、従来の総合職とは異なりますか。

- 1  はい
- 2  いいえ

次へ

SQ5

具体的にどのような点で異なりますか。 (いくつでも)

- 1  専門職としての昇進制度が設けられている
- 2  給与体系・評価制度が異なる
- 3  職務内容が専門領域に固定される
- 4  育成・研修制度が独立している
- 5  その他

次へ

Q4

神戸大学大学院経済学研究科「経済数理データ科学専攻(修士課程)」(仮称)を修了した学生を採用したいと思いませんか。

- 1  データサイエンティスト採用枠として採用したい
- 2  採用したいと思う
- 3  わからない
- 4  採用しない

次へ

Q5

単年度で採用可能と思われる採用人数は何人ですか。

- 1  1人
- 2  2人
- 3  3人
- 4  4人
- 5  5人以上
- 6  わからない

送信